

<p><b>【技術の名称】</b>                  スターズ基礎梁工法                  - 星形補強筋を用いた基礎梁の貫通孔補強工法 -</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第14-22号                  性能証明発効日：2014年12月2日</p> <p><b>【取得者】</b>                  株式会社フジタ、大和ハウス工業株式会社</p>
--	--

**【技術の概要】**

本技術は、鉄筋コンクリート造基礎梁の点検用入通孔等として設けられる大口径貫通孔の補強工法であり、孔周囲の補強は孔を囲むように配置する星形補強筋、孔左右に配置する孔際補強筋、孔上下に配置する孔部上下補強筋および孔部水平補強筋を用いて補強している。星形補強筋は、閉鎖型の二等辺三角形補強筋を2枚1組で組み合わせた補強筋である。孔部上下補強筋は孔部水平補強筋と基礎梁主筋の間に設置するあばら筋形状の補強筋である。孔際補強筋は孔部左右に設置するあばら筋形状の補強筋である。

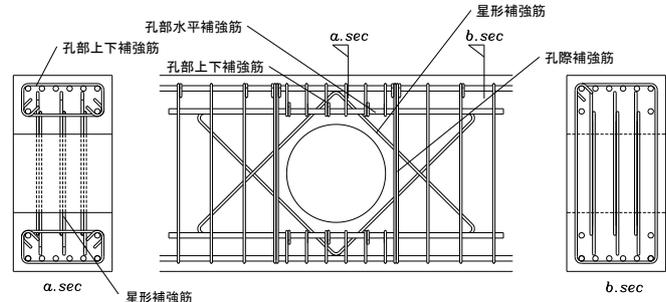


図1 孔補強方法

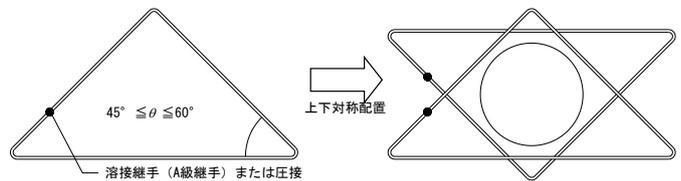


図2 星形補強筋

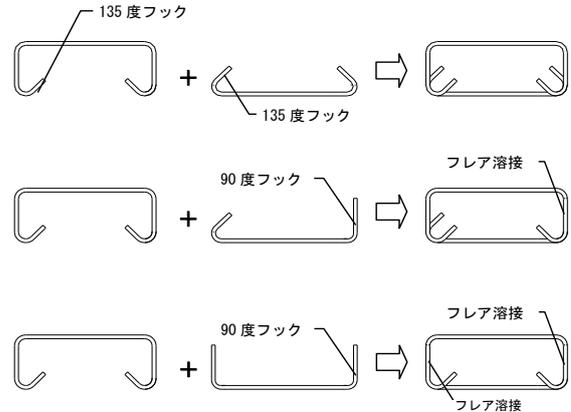


図3 孔部上下補強筋

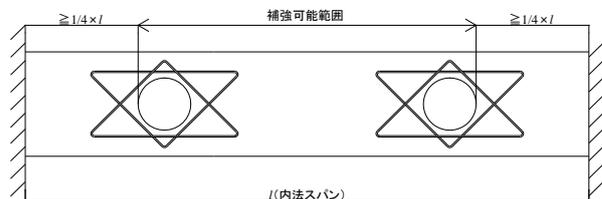


図4 孔適用範囲

**【技術開発の趣旨】**

従来の RC 梁貫通孔の直径は梁せいの 1/3 以下に制限することが推奨されている。基礎梁に設ける点検用入通孔では直径は 600mm 程度が必要となるため、この制限では、設計用応力に拘わらず基礎梁せいが 1800mm 必要となる。この点を合理化するために、本工法は、梁の貫通孔の直径が梁せいの 1/3 以上 1/2 以下の範囲において、従来の斜め補強筋に代わる星形補強筋を用いて、配筋を簡素化しながら、過大な基礎梁せいとなることを防ぐものである。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「スターズ基礎梁工法 設計施工指針」に従って設計施工された基礎梁は、同指針で定める使用限界時（長期荷重時）に使用上の支障が生じず、損傷限界時（短期荷重時）に修復性を損なう損傷が生じない。また安全限界時（極めて稀な地震時）に所要の終局強度を有する。

**【本技術の問合せ先】**

株式会社フジタ

〒243-0125 神奈川県厚木市小野 2025-1

大和ハウス工業株式会社

〒631-0801 奈良県奈良市左京 6 丁目 6 番地 2

担当者：高森 直樹

担当者：森 貴久

E-mail：takamori@fujita.co.jp

TEL：046-250-7095 FAX：046-250-7139

E-mail：m269957@daiwahouse.jp

TEL：0742-70-2143 FAX：0742-72-3063